



金武クラブ新年親睦会/ 2003年

北米金武クラブでは2月16日ロス郊外のレストランで新年親睦会を開催した。金武町にゆかりのある人達270人が参加した。ジョウジ・仲間さんが全体の司会を担当し、金武クラブ安次富正信会長、北米沖縄県人会比嘉朝儀会長、元会長・現顧問の池原勲さんらの挨拶の後、羊年に因んで今年百才になる仲田カマドさん始め、85才以上になる高齢者達8人が舞台にあがり、これまでのご苦労にたいし感謝状が安次富会長より手渡され、ケーキ・カクテルや乾杯が行われた。ビジネスのためアトランタからの帰り当日の宴会に出席した、金秀グループ社長、WUB インターナショナル会長の呉屋守将さんが系県人の活躍を祝福した後、「8月29日から9月2日までの5日間、ホノルル・ハワイにて第一回世界のウチナーンチュ会議が開催されるので、大勢の参加を」と呼び掛けた。



金武出身の玉城流冠千会与那嶺恵子琉舞道場門下生による琉舞「かぎやで風」で第二式が開幕。真境名本流真境名愛子琉舞道場の若い門下生達の中に仲田カマドさんの孫、曾孫がいる。当日カマドさんの百才を祝して、「あかたさんどち」、「谷茶前」などを披露した。ハワイから親戚の方がカマドさんのために特別出演され、「芭蕉布」、「めんそうれ」を踊った。金武町から四年連続新年宴会に出席している金武町体育協会空手部長の池原英樹さんの息子秀幸さんの剛柔流空手演武や去年の百年記念祭に間に合わせて金武町より寄贈された獅子舞などが参加者達を楽しませた。総合建設業・双葉工務店社長でもある池原英樹さんは「十年前に空手の演武者18名を新年宴会につれてきた。今後も金武町役場と情報交換をし、ホーム・ステイなどをどうして人材育成に協力していきたい」と抱負を語った。

当銘貞夫

写真は85才以上の高齢者達、中央が安次富さん。金秀グループ社長・呉屋守将さん(中央)をかこんで、左から比嘉県人会長、呉屋さん、安里さん、安次富さん。